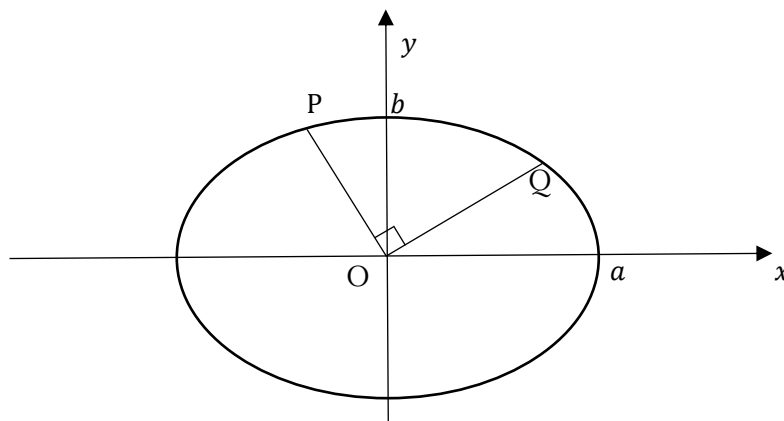


(問題 33)

原点 O を中心とする楕円の1つの焦点を F とする。楕円上の点を図のように点 P, Q を線分 OP, OQ が直交するようにとるとき、 $\frac{1}{OP^2} + \frac{1}{OQ^2} = (\text{一定})$ となることを示せ。



(解答)

(解法のテクニック)

P, Q の直交座標を $Q(r_1 \cos \theta, r_1 \sin \theta), P(r_2 \cos(\theta + \frac{\pi}{2}), r_2 \sin(\theta + \frac{\pi}{2})) = (-r_2 \sin \theta, r_2 \cos \theta)$ とおく。 OQ と x 軸とのなす角を θ とおくと OP と x 軸とのなす角を $(\theta + \frac{\pi}{2})$ と定めることができる。 OP, OQ の x 軸とのなす角を1変数 θ で表すことができる。

a, b を定数として楕円を $\frac{x^2}{a^2} + \frac{y^2}{b^2} = 1$ とおき、

この式に点 Q の座標を代入して $\frac{(r_1 \cos \theta)^2}{a^2} + \frac{(r_1 \sin \theta)^2}{b^2} = 1$

$$\Rightarrow r_1^2 \left(\frac{\cos^2 \theta}{a^2} + \frac{\sin^2 \theta}{b^2} \right) = 1$$

同様に P の座標を代入して

$$r_2^2 \left(\frac{\sin^2 \theta}{a^2} + \frac{\cos^2 \theta}{b^2} \right) = 1$$

$$\frac{1}{OP^2} + \frac{1}{OQ^2}$$

$$= \frac{1}{r_2^2} + \frac{1}{r_1^2}$$

$$= \frac{\sin^2 \theta}{b^2} + \frac{\cos^2 \theta}{a^2} + \frac{\cos^2 \theta}{b^2} + \frac{\sin^2 \theta}{a^2}$$

$$= \frac{\sin^2 \theta + \cos^2 \theta}{a^2} + \frac{\cos^2 \theta + \sin^2 \theta}{b^2}$$

$$= \frac{1}{a^2} + \frac{1}{b^2} = (\text{一定})$$